

避難行動に関するシミュレーション

陸前高田市防災局防災課

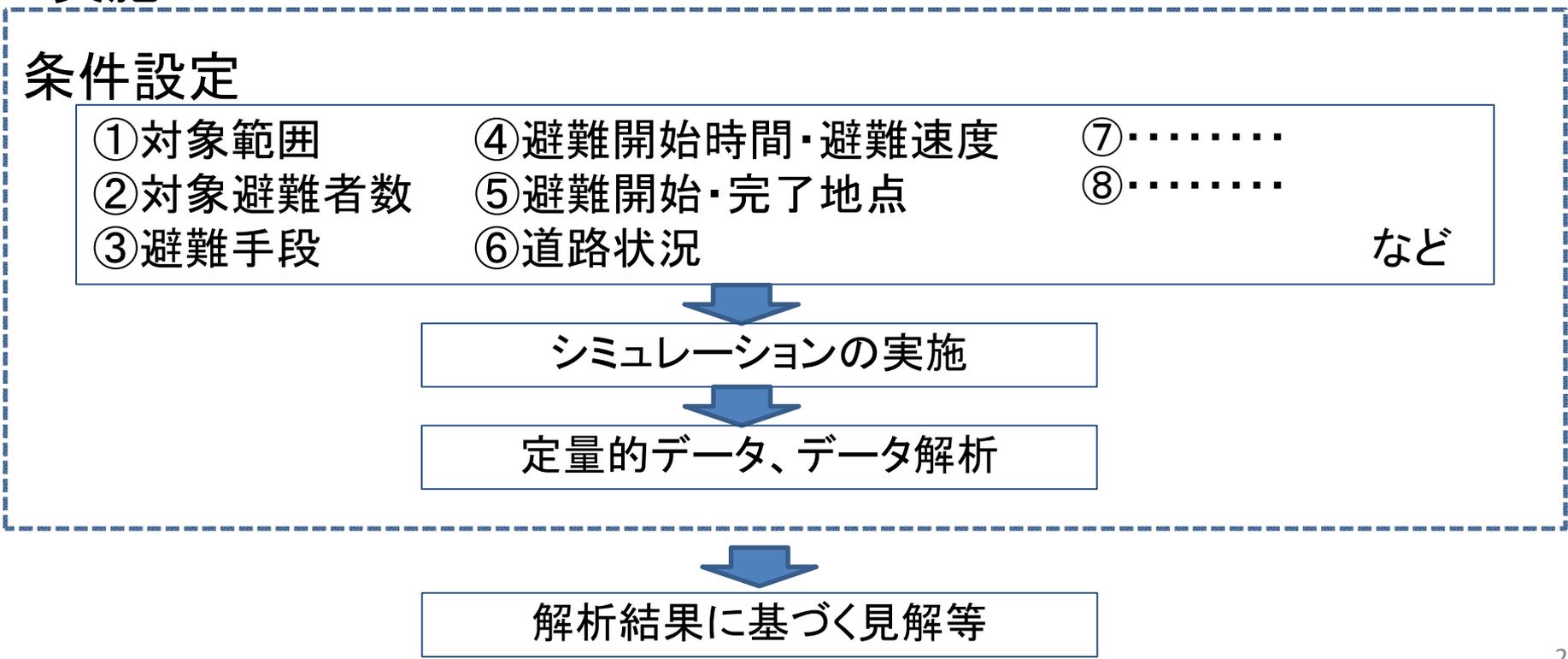


1 避難行動シミュレーションの目的とフロー

○ 目的

設定条件をもとに、シミュレーションを行い、その結果を検証、解析して、見解等を提示する。

○ 実施フロー



条件設定

① 対象範囲

地域住民の避難行動の動き、観光人口の避難行動の動きを解析する必要があることを踏まえ、対象地区を選定する。(資料3-2を参照)

② 対象避難者数

	集落、市街地	復興祈念公園	海水浴場	道路上(通過車両)
季節・時間帯	季節: 時間帯:夜間人口(最大時間帯)	季節: 時間帯:最大集客時	季節: 時間帯:最大集客時	季節 時間帯:ピーク時
避難者数	人	人	人	台
引用資料	住民基本台帳	観光交流課調べ	観光交流課調べ	

条件設定

③ 避難手段

	集落、市街地		復興祈念公園		海水浴場		道路上(通過車両)
ケース1 (自動車依存)	徒歩	%	徒歩	%	徒歩	%	100%が自動車 避難
	自動車	%	自動車	%	自動車	%	
ケース2 (自動車抑制)	徒歩	%	徒歩	%	徒歩	%	
	自動車	%	自動車	%	自動車	%	
ケース3							
引用資料							

④ 避難開始時間・避難速度

	集落、市街地		復興祈念公園		海水浴場		道路上(通過車両)
避難開始 時間	地震発生〇~〇 分後に避難開始		地震発生〇~〇 分後に避難開始		地震発生〇~〇 分後に避難開始		地震発生〇分後 に一斉避難開始
避難速度	自動車: 徒歩:		自動車: 徒歩:		自動車: 徒歩:		自動車: 徒歩:
引用資料							

条件設定

⑤ 避難開始・完了地点

- 対象地点から、最寄りの指定緊急避難場所まで
- 復興祈念公園、高田松原海水浴場、広田町泊地区については、資料3-2を参照

⑥ 道路状況

- 信号は停止状態（信号停止状態による道路横断者の取扱い）
- 気仙大橋は通行可
- 道路は車線数どおり、通行方向どおりに通行可
（ex. 避難方向のみに通行するものと設定するか、この場合2車線は避難方向に2台通行、シンボルロード（幅員大）の通行台数の検討）
- 乗り捨てや事故、電柱倒壊による道路の寸断や、迷走車両による立ち往生は、条件に組み込まない（自動車避難者にとっては好条件）
- 液状化の有無
- 道の駅、海水浴場駐車場から国道への合流の状況